



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7613 URL <https://www.siix.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 晃治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 (氏名) 大野 精二 (TEL) 06-6266-6415  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	71,721	13.8	2,684	44.4	2,709	40.1	1,939	90.1
2022年12月期第1四半期	63,026	14.0	1,858	29.5	1,934	21.9	1,020	△28.6

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 3,260百万円(△43.4%) 2022年12月期第1四半期 5,756百万円(2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	41.00	40.95
2022年12月期第1四半期	21.59	21.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	206,797	80,155	38.5
2022年12月期	205,170	77,389	37.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 79,654百万円 2022年12月期 76,891百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	8.3	11,300	26.5	10,200	22.3	7,700	62.7	162.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 2社(社名) SIIX Logistics Phils., Inc.  
SIIX COXON PRECISION PHILS., INC.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	50,400,000株	2022年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	3,098,075株	2022年12月期	3,097,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	47,302,100株	2022年12月期1Q	47,264,308株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、個人消費は堅調に推移しているものの、高インフレ・政策金利上昇による下押しの圧力により、景気は減速傾向にあります。欧州では、中国向けの輸出がゼロコロナ政策緩和以降から徐々に回復しておりますが、ウクライナ情勢を受けた資源価格の高騰や物価上昇等が長期化していることにより、個人消費・企業の経済活動へ下押しの圧力が強まっており、景気は低迷しております。アジアにおいて、中国では、政府がゼロコロナ政策を大幅に緩和したことにより、内需・サービス主導で景気回復傾向にあります。その他のアジア各国では、ウィズコロナ政策のもとで内需・外需ともに景気回復が持続している国もありますが、インフレの長期化・輸出不振等で景気後退に入る国もあり、先行き不透明な状況となっております。日本では、ウィズコロナの生活様式が定着し、消費活動およびインバウンド需要の回復による経済活動の正常化が景気を後押ししております。

当社グループが関連するエレクトロニクス市場は、長期化していた電子部品の供給不足がやや緩和傾向にあるものの、半導体関連投資の減速などによりやや弱含みで推移しております。しかし、中長期的にはCASEやIoTといった技術革新の進行とともに、気候変動対策および脱炭素対策としての自動車や産業機器の電動化ニーズがさらに拡大していく市場であると認識しております。こうした状況下、当社グループでは、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を目指しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は717億2千1百万円と前年同期に比べて86億9千4百万円の増加(13.8%増)となりました。利益面では、営業利益は26億8千4百万円と前年同期に比べて8億2千5百万円の増加(44.4%増)となり、経常利益は27億9百万円と前年同期に比べて7億7千5百万円の増加(40.1%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は19億3千9百万円と前年同期に比べて9億1千9百万円の増加(90.1%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

(日本)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は256億2千6百万円と前年同期に比べて19億5千万円の増加(8.2%増)となりました。

利益面では、在庫関連経費の増加にともない、セグメント利益は6千4百万円と前年同期に比べて1億2千8百万円の減少(66.7%減)となりました。

(中華圏)

情報機器用部材および家電機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は220億9千4百万円と前年同期に比べて6億4千6百万円の増加(3.0%増)となりました。

利益面では、車載関連機器の減産影響等により、セグメント利益は2千9百万円と前年同期に比べて3億7千3百万円の減少(92.7%減)となりました。

(東南アジア)

家電機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、当セグメントの売上高は291億7百万円と前年同期に比べて44億9千7百万円の増加(18.3%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は14億6千9百万円と前年同期に比べて3億7千9百万円の増加(34.8%増)となりました。

(欧州)

産業機器用部材出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は47億6千5百万円と前年同期に比べて3億8千5百万円の増加(8.8%増)となりました。

利益面では、半導体や電子部品のサプライチェーンの混乱による生産効率の低下やウクライナ侵攻による資源価格等の高騰が長期化していること等もあり、6千7百万円のセグメント損失(前年同期は1千4百万円のセグメント利益)となりました。

(米州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、売上高は168億1千4百万円と前年同期に比べて32億8千9百万円の増加(24.3%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は8億2千1百万円と前年同期に比べて5億2千9百万円の増加(181.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて16億2千7百万円増加(0.8%増)し、2,067億9千7百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金20億8千3百万円の減少(15.1%減)、棚卸資産13億3千7百万円の増加(1.8%増)および受取手形、売掛金及び契約資産19億7千万円の増加(3.6%増)等により、前連結会計年度末に比べて6億5千5百万円増加(0.4%増)し、1,509億3千1百万円となりました。

固定資産は、各海外生産拠点での設備投資にともなう機械装置の増加もあり、有形固定資産7億8千万円の増加(1.7%増)等により、前連結会計年度末に比べて9億7千2百万円増加(1.8%増)し、558億6千6百万円となりました。

## (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて11億3千8百万円減少(0.9%減)し、1,266億4千2百万円となりました。

流動負債は、未払金29億4百万円の減少(36.6%減)、短期借入金23億4千万円の増加(6.5%増)等により、前連結会計年度末に比べて6億2千4百万円減少(0.6%減)し、959億7千3百万円となりました。

固定負債は、長期借入金3億9千9百万円の減少(2.6%減)等により、前連結会計年度末に比べて5億1千4百万円減少(1.6%減)し、306億6千8百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定14億2千9百万円の増加(10.0%増)および利益剰余金13億8千9百万円の増加(2.3%増)等により、前連結会計年度末に比べて27億6千5百万円増加(3.6%増)し、801億5千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は37.5%から38.5%に増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表した2023年12月期連結業績予想の変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX MALAYSIA SDN. BHD. を連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、SIIX Logistics Phils., Inc. およびSIIX COXON PRECISION PHILS., INC. は、2023年1月1日付でSIIX EMS PHILIPPINES, INC. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,793	11,709
受取手形、売掛金及び契約資産	55,091	57,061
商品及び製品	27,738	28,419
仕掛品	2,264	2,447
原材料及び貯蔵品	43,425	43,899
その他	8,027	7,459
貸倒引当金	△64	△64
流動資産合計	150,275	150,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,513	18,517
機械装置及び運搬具（純額）	15,739	16,487
土地	4,644	4,690
その他（純額）	6,460	6,443
有形固定資産合計	45,358	46,138
無形固定資産	2,520	2,478
投資その他の資産		
投資有価証券	2,227	2,192
出資金	1,015	1,234
その他	3,876	3,913
貸倒引当金	△103	△90
投資その他の資産合計	7,015	7,249
固定資産合計	54,894	55,866
資産合計	205,170	206,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,733	41,735
短期借入金	36,136	38,477
未払法人税等	2,065	2,043
その他	16,662	13,717
流動負債合計	96,598	95,973
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,125	14,725
退職給付に係る負債	642	668
その他	5,414	5,273
固定負債合計	31,182	30,668
負債合計	127,780	126,642
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,594	5,594
利益剰余金	60,389	61,779
自己株式	△5,866	△5,866
株主資本合計	62,261	63,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347	287
為替換算調整勘定	14,276	15,706
退職給付に係る調整累計額	6	9
その他の包括利益累計額合計	14,630	16,002
新株予約権	67	64
非支配株主持分	430	436
純資産合計	77,389	80,155
負債純資産合計	205,170	206,797

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	63,026	71,721
売上原価	57,204	64,718
売上総利益	5,821	7,002
販売費及び一般管理費	3,963	4,317
営業利益	1,858	2,684
営業外収益		
受取利息	2	38
持分法による投資利益	35	52
為替差益	109	4
補助金収入	27	38
物品売却収入	66	105
スクラップ売却益	48	41
その他	75	127
営業外収益合計	365	407
営業外費用		
支払利息	129	307
物品購入費用	43	54
その他	116	20
営業外費用合計	289	382
経常利益	1,934	2,709
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	1,934	2,712
法人税、住民税及び事業税	734	988
法人税等調整額	175	△213
法人税等合計	909	775
四半期純利益	1,024	1,936
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,020	1,939



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,024	1,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	△59
為替換算調整勘定	4,856	1,363
退職給付に係る調整額	8	3
持分法適用会社に対する持分相当額	63	16
その他の包括利益合計	4,732	1,323
四半期包括利益	5,756	3,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,724	3,253
非支配株主に係る四半期包括利益	32	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当第1四半期連結累計期間において、第31期有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

なお、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な外部情報等を踏まえて慎重に見積りを行っておりますが、当該感染症の収束時期は現時点で予測不能であり、実際の結果は上記の見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,984	16,505	19,618	4,109	10,786	63,004	22	63,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,691	4,941	4,991	270	2,739	24,633	△24,633	—
計	23,675	21,447	24,609	4,380	13,525	87,638	△24,611	63,026
セグメント利益	193	402	1,090	14	291	1,992	△133	1,858

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額22百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。

(2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△24,633百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(3) セグメント利益の調整額△133百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,210	17,132	22,412	4,420	13,430	71,606	114	71,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,415	4,961	6,695	345	3,384	26,801	△26,801	—
計	25,626	22,094	29,107	4,765	16,814	98,407	△26,686	71,721
セグメント利益 又は損失(△)	64	29	1,469	△67	821	2,316	367	2,684

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額114百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。

(2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△26,801百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(3) セグメント利益又は損失(△)の調整額367百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。